

### 第3回浪江町町民座談会

日時：平成28年11月6日（日）10:00～11:45

場所：いわき市 「なみえ交流館」

参加者：9名

#### グループごとの主な意見（概要）

##### A グループ

- ・ 浪江らしさを大事にするため、十日市等のイベントを浪江町でやればもっと人が集まるのではないか。また、十日市の由来についても伝承すべきである。
- ・ 中心市街地と6号国道を結ぶ機能を持たせるべきである。
- ・ 駅前にシンボルがほしい。他の市町村にはないものを計画するとインパクトがあるが、具体的な意見はなかった。
- ・ 将来的には、除染業者等の作業員が飲食店街に来ることも考えられる。作業員の宿泊所についても、避難指示が解除になれば宿泊施設等も必要と思われる。
- ・ 仮設住宅の方々に話を聞くと、中心市街地の便利なところに住みたいと言っている。空き地を活用した公営住宅の提供。
- ・ 浪江小学校用地の南北道路が狭隘なため、拡幅が必要。小学校の当面の利活用として、高齢者の生涯学習施設、ボランティアの活動拠点。
- ・ 8割が取り壊されるので、この際に道路整備を行う必要があるのではないか。
- ・ 楽しいプロジェクトに取り組んでいく。
- ・ 若い世代が働く場所があり、戻れる様な計画。
- ・ 浪江駅の南北を結ぶ自由通路があれば便利だが、莫大な建設費が考えられる。
- ・ 情報発信ツールとして各世帯に配布しているタブレットの活用。
- ・ 駅前の再開発の話もあったが、すぐ戻りたい人は、従前地での再建をし、空き地の利活用を推進すべき。

##### B グループ

- ・ 浪江らしさを感じる祭りを復活させるには若い担い手を増やす必要がある。そのため、個人商店の事業を成り立たせる環境作りが必要。
- ・ 自分の土地と店舗は手放したくないが、後継者がいないので若い人に利用してもらえたらと思う。そのため、土地建物所有者と利用者のマッチングが必要。
- ・ 駅前には空き地がたくさんできるので、やる気ある若い人に計画に入ってもらい、計画的に施設を運営するなど、若い人が浪江町に入ってくる仕組み作りが必要。
- ・ 元々あった企業、新規企業の誘致を行う。雇用があれば若い人が入ってくる。
- ・ 駅前や請戸川沿いのまとまった空き地に総合病院・高齢者住宅・介護施設等の福祉施設を検討したら良いのでは？

## 第4回浪江町町民座談会

日時：平成28年11月6日（日）14：00～15：50

場所：浪江町 「浪江町役場本庁舎」

参加者：13名

### グループごとの主な意見（概要）

#### A グループ

- ・ 中心市街地の線量が低いことをもっと PR する必要がある。現状として安心して帰町できるという PR がない。皆、不安があるから帰町を希望していない。
- ・ 駅西口へのアクセス確保として橋上駅（跨線橋）の検討が考えられる。また、軌道沿いに道路も整備されると良い。
- ・ 駅西側から国道6号までの道路整備。
- ・ 駅前の空き地・空き家を利用した店舗の整備を実施すべき。
- ・ 新町通りの歩道は狭く歩きにくかったので、歩きやすい歩道を整備する（セットバックの検討や景観にも配慮）。
- ・ 火葬場を整備してほしい。
- ・ 意向調査を実施してほしい。
- ・ 中心市街地に住みたいという人は、たくさんいる。
- ・ 帰町した高齢者が魅力を発信する。魅力の発信方法としては、SLを通すなどイベント実施や、テレビの活用。現在二本松で実施している十日市を浪江町で実施し、中心市街地は安全であることは実感してもらう PR 方法。
- ・ 若い世代の雇用の場が必要。
- ・ 帰町する上で医療とセキュリティが不安である。
- ・ 帰町した人の健康維持のため健康管理施設（プール等）や、遊ぶところが必要。
- ・ 浪江小学校が再開するまでの利活用方法として、高齢者のための生涯学習施設の設置が考えられる。

#### B グループ

- ・ いわき出身だが、十日市は素晴らしいと思った。
- ・ 佐屋前はコスモスと桜がきれいだった。除染をしてほしい。
- ・ 準備宿泊をしているが夜がととてもさみしい。家のあかり、街灯が必要。
- ・ 安全安心なまちづくりのため、空き地の除草・鳥獣被害の軽減対策をしてほしい。
- ・ 段階的なまちづくり・魅力あるまちづくりが必要。高齢者が戻れば雇用も生まれ、若者が戻れる環境になれば、今の40～50代が20～30年後には浪江に戻れる。
- ・ 浪江に行きたくなるイベントなどを企画し、空き地や既存施設等を利用し早期に実施してほしい。避難生活が長くなればなるほど、浪江が心から離れていく。
- ・ 地域スポーツセンターは、施設内の設備が知られてないので情報発信してほしい。
- ・ 浪江小学校は部屋数も多いし駐車場もあるので、高齢者の生涯学習の場・ボランティアの宿泊先・震災復興の歴史資料館などとして利活用を考えるべき。
- ・ まち・なみ・まるしえは日曜日でも営業するべき。日曜日に片付けに来る人も多い。